

令和3年度茨P連女性ネットワーク委員会
オンライン研修会(動画配信)

配信期間予定⇒7月1日(木)～8月31日(火)

勇気づけアドラー心理学の子育て・自分育て

勇気づけの子育て法

～親の心を整え、子どもの自信とやる気を引き出す～



このような方にお勧めです！

子育てのイライラから、脱却したい！
自分自身も、怒りんぼママから、ニコニコママに変わりたい！
最近、勇気づけという言葉を知り、どうのこと？
勇気づけって何だろう？どうやってすればいいの？
ほめと勇気づけって違いがあるの？
勇気づけの具体的な言葉が知りたい！

長谷 静香先生のプロフィール

コミュニケーションサロン勇気のしずく代表。心理カウンセラー・メンタルコーチ看護師・保育士。
1972年福岡県生まれ。茨城県在住。三児の母。
大学病院に10年間看護師として勤務。退職後、ベビーサイン講師として活動中、子育てに悩みアドラー心理学に出会う。岩井俊憲氏に師事しアドラー心理学勇気づけセミナー講師・カウンセラーとして活動。2017年より野口嘉則氏に師事し、コーチングとカウンセリングについて、学びを深めメンタルファウンデーション協会認定プロフェッショナルコーチとなる。
現在、医療・行政・教育機関・企業向けの研修・講演を全国で開催。個人向け講座、セッションは、海外からの受講生、クライアントもいる。
誰かを勇気づけるためには、まずは、自分自身の心の器を勇気のしずくで満たすこと。
満タンになって、あふれこぼれたひとしずくが、他の人にも波紋を広げていく。まずは、心の器を作ること、そして心の器を満たすお手伝いをさせていただきたい。あなた色に生きる生き方をサポートさせていただきたい。そういう想いを込めて活動中。
2016年～独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校非常勤講師
2018年～茨城キリスト教大学看護学部非常勤講師
2020年～茨城県結城看護専門学校非常勤講師
2021年～土浦協同病院附属看護専門学校非常勤講師

- ・勇気のしずくホームページ <http://haseshizuka.com/>
- ・長谷静香ブログ <https://ameblo.jp/tsukuba-yuukiduke/>
- ・メールマガジン一日ひとしずく～疲れた心が軽くなるメールレッスン～
<https://haseshizuka.com/mailmagazine>・E-mail info@haseshizuka.com
- ・YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCDKWSW28OrimzknNGqFlAig>

動画の視聴方法

※たくさんの会員の皆様に見ていただければ幸いです。

長谷 静香先生の講話を視聴される方は、右記QRコードより茨城県PTA連絡協議会ホームページに入り、事業活動ボタンの研修事業・活動報告をクリックしてください。女性ネットワーク委員会研修会に掲載されているURLをクリックすると動画に入れます。



委員長メッセージ

委員長 添野 真理子

本年度、女性ネットワーク委員会委員長を務めさせていただきます添野と申します。昨年度からのコロナ禍の中、各活動にご理解とご協力いただいておりますこと感謝申し上げます。人流を抑えることが一番と考え、「動かない」決断をした昨年を経て、本年は初めてWeb開催を試みます。Webでの開催となったからこそ、たくさんの方にご視聴いただけましたら幸いです。

委員会のメンバーご紹介

| | 中央 | 県北 | 県東 | 県南 | 県西 |
|--------|----------------------------|--------|--------|-------|--------|
| 県副委員長※ | 羽川 佳子 | 小林 恵美子 | 美間 久美 | 増山 貴子 | 菊池 みさ子 |
| 地区副委員長 | 阿部 知美 | 清水 悦子 | 神馬 みづき | 萩谷 直美 | 鹿久保 景子 |
| 顧問 | 佐野 由美子 ※県副委員長は、地区委員長を兼ねます。 | | | | |



茨P連女性ネットワーク委員会のあゆみ

(「女性ネットワーク委員会なび」より)

- 昭和54年 「母親委員会」として発足しました。
- 平成15年 幅広い女性への情報発信を目指して「女性ネットワーク委員会」へと名称を変更しました。

【これまで取り組まれたテーマ】

- 平成15・16年度⇒食育 ・食を見直し大切さを学び伝える。
- 平成17・18年度⇒子どもを取巻く有害環境対策
 - ・ケータイ、インターネットに潜む危険から子どもたちを守る。
- 平成19・20⇒自尊感情
 - ・「かけがえのないたった一人のあなた」であることを伝える。
- 平成21・22年度⇒家族のきずな、コミュニケーションの再生
 - ・愛情WA（和・話・笑・環・輪）を紡ぎながら、我が家のかたちを築く。
- 平成23年度⇒命の尊さを伝える
 - ・当たり前日常への感謝、かけがえのない命の大切さを伝える。
- 平成24・25年度⇒自立へ導く親の役割
 - ・ありのままのわが子を受け止め、信頼関係を深めながら自立へ導く親の役割
- 平成26・27年度⇒親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために
 - ・親も子も人とのつながりを大切にしながら育ちあう。
- 平成28年度⇒親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために 参加型研修を取り入れた学び合い
 - ・親も子も学校、地域の人とのつながりを深めながら育ちあう。
- 平成29年度⇒学ぼう！伝えよう！大切なこと！
 - ・子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために
- 平成30年度⇒コミュニケーションについて
- 平成31年度(令和元年度)・2年度⇒大切なわが子を守るために
 - ・子どもとのコミュニケーションを考えよう。

本年度の【茨P連女性ネットワーク委員会活動テーマ】

親子のコミュニケーションを深め、子どもの心を見つめよう ～様々なかたちのコミュニケーションツールを活かして～

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 中 央 | 今こそ子どもと会話をしよう ～豊かな心を育てるために～ |
| 県 北 | 子ども達の笑顔を守るため ～食卓を囲んでコミュニケーションを～ |
| 県 東 | 『人と人、親子をつなぐコミュニケーション』 |
| 県 南 | 「親と子の心の健康を育もう」～家庭・学校・地域とのつながりを活かして～ |
| 県 西 | お家時間を生かして親子の絆を深めよう |

委員の皆様、アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

昨年度末のアンケートには、537名の委員（担当者）の皆様よりご回答をいただきました。今後ご指摘・ご提案をいただきました内容をもとに、茨P連女性ネットワーク委員会にて協議を進め検証と見直しを行ってまいりたいと考えております。